

## 目標や指標の考え方について

### 1 区のCO<sub>2</sub>削減目標と後期計画期間の取組み方針

豊島区が掲げているCO<sub>2</sub>削減目標は相当に高いものであり、その達成には大きな努力が必要である。東日本大震災の影響により電力のCO<sub>2</sub>排出係数が大きく上昇するなどの外的要因もあり、今後さらに達成が困難になることが予測される。

環境基本計画の中間見直しにあたり、削減目標を見直すことも考えられるが、現在、国において、2020年までの削減目標についてゼロベースでの見直しが進められている。

一方、「当面の地球温暖化対策に関する方針」において、京都議定書以降の新たな地球温暖化対策計画が策定されるまでの間、引き続き、これまでと同等以上の取組みを推進することが求められている。

…地球温暖化対策を切れ目なく推進する必要性に鑑み、新たな地球温暖化対策計画の策定に至るまでの間においても、地方公共団体、事業者及び国民には、それぞれの取組状況を踏まえ、京都議定書目標達成計画に掲げられたものと同等以上の取組を推進することを求めることとし、政府は、地方公共団体、事業者及び国民による取組を引き続き支援することで取組の加速を図ることとする。

「当面の地球温暖化対策に関する方針」より抜粋（平成25年3月15日決定）

そのため、現時点ではCO<sub>2</sub>削減目標の見直しは行わない。

また、区の中期目標である2025年度30%削減に向けた取組みを着実に進めるため、後期計画期間においては、計画終了年度（2018年度）における目安を、地域の取組みが見えやすいエネルギー消費量で示すこととする。

- 現時点では、CO<sub>2</sub>削減目標の見直しは行わない。
- 後期計画期間では、中期目標（2025年度）に向けた取組みを着実に進めるため、計画終了年度（2018年度）におけるエネルギー消費量の目安を示す。

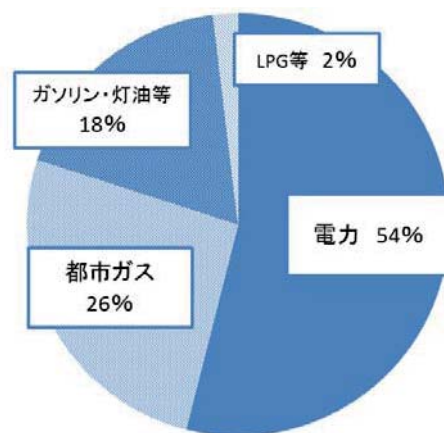
## 2 取組みの結果を把握するために

これまで示してきたエネルギー消費量は、区内で使われる電力、都市ガス、ガソリン、灯油、軽油等の様々なエネルギーを合計したものである。

その推移については、以前より「豊島区環境年次報告書」で公表しているが、CO<sub>2</sub>排出量、排出係数との相関関係などを、よりわかりやすい形で示していく必要がある。

一方このデータは、CO<sub>2</sub>排出量と同じく、統計が揃うまでに2年かかるため、直近の取組みの結果を把握することが難しい。区内におけるエネルギー供給事業者のご協力をいただきながら、より直近の取組み状況を把握・検証していくことが望ましい。

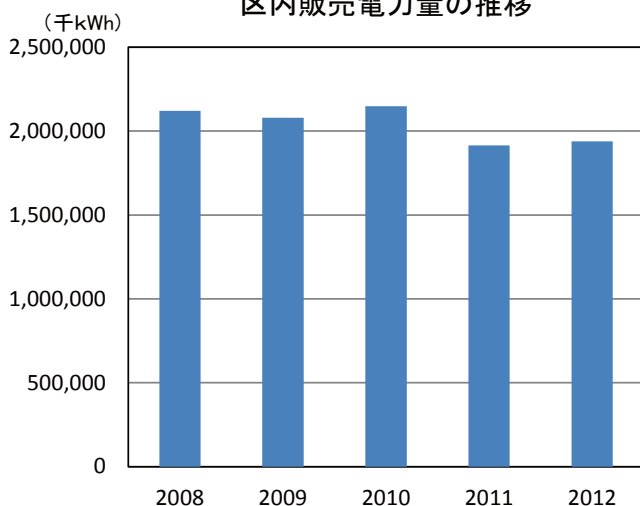
2010年度 区内エネルギー消費割合



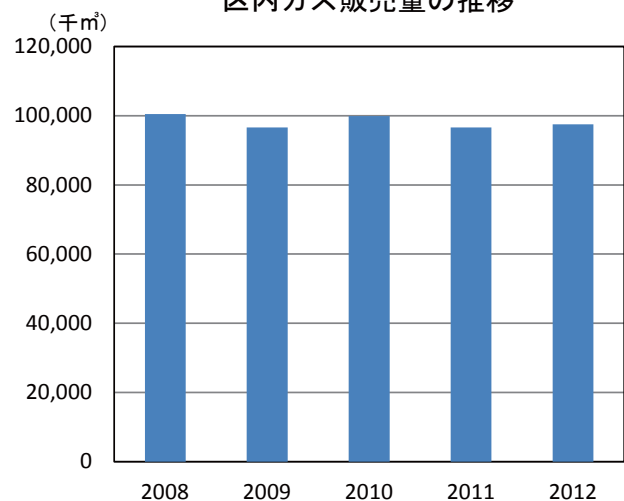
(特別区の温室効果ガス排出量  
平成25年3月より作成)

### <参考> 区内の販売電力量とガス販売量

区内販売電力量の推移



区内ガス販売量の推移



(単位: 千kWh)

	2008	2009	2010	2011	2012
販売電力量	2,121,066	2,079,960	2,147,359	1,914,000	1,938,808

(単位: 千m³)

	2008	2009	2010	2011	2012
ガス販売量	100,436	96,615	99,859	96,576	97,514

(東京電力株式会社・東京ガス株式会社提供資料より作成)